



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取り組みです。

2023 年は、去年の 7 校から新たに 2 校の美術大学を加え、9 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。

今回は、7 月 1 日（土）から「女子美術大学大学院 日本画研究領域」を開催いたします。

■タイトル / 「生々流転」

～第 20 回大学日本画展 <女子美術大学大学院 日本画研究領域>～

■会 期 / 2023 年 7 月 1 日（土）～16 日（日） 11:00～19:00 *最終日 17:00 まで
<月曜定休>【入場無料】

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

- ・池谷 貴子（いけや たかこ）・張 兆揚（ちよう ちようよう）・瀬尾 こころ（せお こころ）
- ・春木 彩香（はるき あやか）・潘 英豪（はん えいごう）・藤本 志帆（ふじもと しほ）
- ・李 唯親（り ゆしん）

■展覧会内容

この度、女子美術大学大学院に籍を置く作家 7 名により、「生々流転」をテーマとした展示を行います。7 名のうち 3 名は留学生であるなど、出身やこれまで触れてきた文化は様々であり、また作家としての眼差しも、それぞれが独自の方向を向いています。しかし、その根底では「生々流転」の世界観を共有しています。そこには、「日本画」という共通の芸術分野を学ぶうえで培った価値観が関係しているのかもしれませんが。日々暮らす中で生の移り変わりを目にした作家たちが、その情景をどのように切り取り、どのような日本画の作品に作り上げるのか、お楽しみいただけましたら幸いです。

■主 催 / 女子美術大学 日本画専攻

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

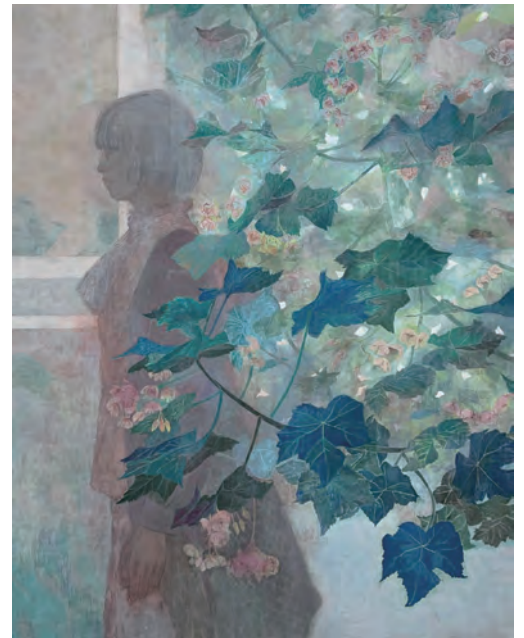
* お問い合わせは E-mail にてお願いします

池谷 貴子 -Ikeya Takako-



<作家コメント>

幽黙一如の世界観のもと、植物と人物を題材に生命の循環を描いている。



《夢で逢った》F100号 紙本着彩 2023年

経歴 静岡県生まれ

2021年 女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻 卒業

2023年 女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程
日本画研究領域 修了

現在 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻
博士後期課程美術研究領域

2019年 第3回アートオリンピック 佳作
令和元年度 女子美術大学奨励賞

2021年 卒業制作《歳の瀬》 加藤成之記念賞
神山財団 芸術支援プログラム 第8期奨学生

2022年 改組 新 第9回日展 初入選

2023年 第7回 新日春展 初入選



IKEYA_TAKAKO

張 兆揚 -Zhang Zhaoyang-



<作家コメント>

人間は死ぬまでも人工物にはなれないのだから、私の作品の中で不可能を可能に変えることはできないだろうかと考えている。そこで、人間の肉体を人工物に置き換えるという表現形式を思いついた。表現内容は、強い裸体の男性の背中、回避のポーズを描くことで、強靱な肉体の中に存在する脆い感情を表現しているということだ。



《「ドア」I》土佐麻紙、天然岩絵具、胡粉、典具和紙、銀泥
W 970mm×H 1620mm 2022年

経歴 中国内モンゴル生まれ

2019年 中国 中央民族大学 美術学院 美術教育 卒業

2023年 女子美術大学大学院美術研究科
博士前期課程日本画研究領域 修了

2021年 第19回公募ZEN展 入選
女子美術大学 1900 六人展

2022年 JOSHIBISION2021/ 第48回東京春季創画展 初入選
ギャラリー美の舎 六叉路六人展 / 第49回創画展 初入選
100周年記念大村文子基金 受賞

2023年 国立新美術館 2022年度東京五美術大学 連合卒業・修了制作展
JOSHIBISION2022 / 女子美術大学美術館 JAM
第49回東京春季創画展 入選 / 上野の森美術館大賞展 入選



CHOU_CHOUYOU

瀬尾 ころろ -Seo Kokoro-



<作家コメント>

「夜」と「音楽」を材料として日本画を描きます！
日々制作するうえで、夜の落ち着いた空気感を大切にしつつ、絵本のようなあたたかさを色や形を通じて表現することを心掛けています。
また、岩絵具や箔、染料など様々な素材を取り入れて制作しているため、それぞれの素材の質感を感じながら作品を鑑賞していただけると幸いです。



《朝の歌》 P100号
紙本着彩・岩絵具・パステル・2022年

経歴

茨城県生まれ

2022 年 女子美術大学卒業芸術学部美術学科日本画専攻 卒業

現在 女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程日本画研究領域

2019 年 女子力展

2020 年 女子力展 / 五美術大学交流展・小作品展 / 全日本アートサロン絵画大賞展

2022 年 東京五美術大学連合卒業・修了制作展 / 第 48 東京春季創画展 初入選

第 49 回創画展 / 入選女子美術大学大学院新一年生展

GALLERY AND LINKS 81 グループ展示 / 茨城県展 入選

2023 年 美粒子～女子美術大学日本画作品展 / 第 49 回東京春季創画展 入選

月ノ出画廊グループ展示参加予定（5 月・7 月）



SEO_KOKORO

春木 彩香 -Haruki Ayaka-



<作家コメント>

祈ること、願うこと、呪うこと。
それらはすべて違うようで似ています。
そんなことを踏まえながら制作しています。

経歴

東京都生まれ

2022 年 女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻 卒業

現在 女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程
日本画研究領域

2019 年 第 5 回 石本正 日本画大賞展 入選

ART OLYMPIA2019 準佳作

2021 年 札幌 MOGA ～銀座 MOGA 巡回展～ / 夢幻 2021

ポラリス展 / KENZAN2021

INTRO10- 山本冬彦が選ぶ若手作家展 -

2022 年 コロニス展 / 令和 3 年度 第 45 回 東京五美術大学
連合卒業・修了制作展

女子美術リユニオン / 今昔絵図展 / KENZAN2022

大解剖 女子美術大学日本画展

2023 年 山本冬彦推薦作家展 14/ 第 78 回春の院展 初入選 / 2023 ポラリス展

女子美術 REUNION Vol.2/ アウラ展



《明日ありと 思う心の仇桜》 M10 号
綿布着彩 2023 年



HARUKI_HARU_KI_

潘 英豪 -Pan Yinghao-



<作家コメント>

自分の宇宙では万象は生きている。
ナチュラルに風景の輪郭線と動植物の形を
置き換えて、空想と現実を組み合わせる自然
のロマンを表現することを目指している。



《千鳥集》 F100 号 岩絵具 2022 年

経歴

中国浙江湖州生まれ

2020 年 厦門大学アニメ専攻 卒業

現在 女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程
日本画研究領域

2022 年 青山ギャラリー常設展

2023 年 INVERSIO 展

「宇宙含情」個展

「第 41 回上野の森美術館大賞展」 入選



@SHANEIGOU

藤本志帆 -Fujimoto Shiho-



<作家コメント>

自身の感情や思考を日本画の作品として描き
起こしている。言葉では捉えられず、形のない
感情を、日本画にしか出せない岩絵具の素材感
や色調を使って表現することを目指している。



《夢鯨》F100号
紙本着彩、岩絵具 2022

経歴

兵庫県生まれ

2022 年 女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻 卒業

現在 女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程
日本画研究領域

2019 年 女子力展

2020 年 ケイケイ展

2022 年 ケイケイ主催企画展「闇鍋」

令和 3 年度 第 45 回 東京五美術大学 連合卒業・修了制作展

第 38 回日曜画家コンクール 入選 / 大解剖 女子美術大学日本画展

第 22 回福知山市佐藤太清賞公募美術展 日本画の部 入選

2023 年 第 7 回新日春展 入選 / ケイケイ主催企画展「糸を引く」



SHIHO_FJMT

李 唯親 -Li Weiqin-



<作家コメント>

私は常に植物を借りて絵の中に自分の感情を表現する、孤独感とか、お互いの信頼感とか、人間の感情は顔にだしやすいから、自然に感情が滲み出す植物は独特な存在である、その命たちに対して感激できなかつたら描けない。



《時々雨・左》F100
岩絵の具、和紙、銀箔 2022 年

経歴

中国上海生まれ

2022 年 女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻 卒業

現在 女子美術大学大学院美術研究科博士
前期課程日本画研究領域

2021 年 joshibision2020 選抜作品展

第 46 回春季創画展入選

星野真吾展入選

2023 年 令和 3 年度 第 45 回 東京五美術大学 連合卒業・修了制作展

加藤成之記念賞、順天堂・佐藤志津・小川秀興賞

第 47 回春季創画展入選

第 49 回創画展入選

第 21 回アートギャラリーホーム 三菱地所レジデンス賞

